

目次	
1 リユース（再使用）する	6
2 修理・修繕・補修する	14
3 リサイクルする	24
4 片付けを依頼する	38
5 空き家の管理と活用	44
6 サステナブル・資源循環社会の主なキーワード	46
7 地域のお店・事業者・業界団体・国が定める指定法人	54
8 法律の告知欄 ～環境と消費に関する主な法律～	65

HOW TO REUSE AND RECYCLE

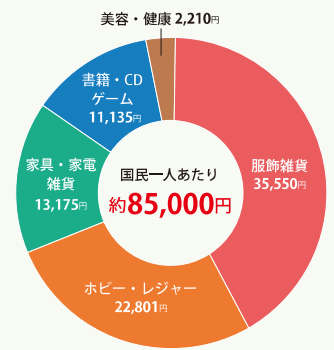
持続可能なライフスタイルを目指した地域情報誌、「不要品をごみにしない」『リユース・リサイクルの仕方』を発行!

私たちは、消費者を対象とした“不要品をごみにしない”を実践する情報誌『不要品をごみとして出す前にリユース・リサイクルの仕方』横浜市版を独自に制作、発行しました。目的はごみを減らす（Reduce）ことではなく、ごみにしないことを習慣にすることです。ひとり一人が「ごみを減らす」から「資源を増やす」に意識が変われば、リユース（再使用）、リペア（修理・修繕）、リメイク、リサイクルなど循環経済につながる事が期待できます。区市町村が担う廃棄物の収集、運搬、処理費用の削減にもつながります。



ごみにしないためのもっとも重要な情報は、資源の循環を担う事業者情報です。地域のリユース、リペア、リメイク、リサイクル、片付け・遺品整理、回収事業者などの事業者を数多く掲載することによって住民のごみにしない行動をうながすことができます。持続可能なライフスタイルの実現は、消費者の日々の生活習慣を無理なく変えるしくみで導く必要があります。日本のごみの処理量*は、毎年4000万トンを超えており、その7割が可燃ごみです。ごみを燃やすための焼却施設は1000を超えており、日本は廃棄物焼却大国といえます。これからは燃やさないことの工夫、行動への導き方を消費者、市町村、事業者と考えていくことが大事です。

大掃除で捨てられる不要品



出典：メルカリ「2023年版 日本の家畜に贈る“かくれ資源”調査」をもとにPIEP作成
金額の一部は割合をもとに算出

私たちは日々の習慣として、ごみを出すことがあたりまえになっています。ごみを出さないようにすること、ごみにしないことを意識した生活に変えていかなければなりません。メルカリによると、大掃除でごみとして出される不要品の金額は約8.5万円と推計しています。年末の大掃除、日々の片付け、引っ越し等でいらぬものを処分するときにごみにしない選択をはじめませんか。

